

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2023

4

vol.304

東北酪農青年女性会議主催

令和5年度東北酪農フォーラム開催
7月に北海道で開催される「酪友フォーラム2023」へ
柚原 友加津さんが東北代表として、発表することと決まりました



TOPICS

- ・ 浪江町畜産施設敷地造成工事安全祈願祭…………… ②～③

東北酪農青年女性会議主催

令和五年度 東北酪友フォーラムが、 山形県上山市「仙溪園 月岡ホテル」にて、開催

三月十六日(休)に、山形県上山市「仙溪園 月岡ホテル」にて、「令和五年度 東北酪友フォーラム」が開催されました。

昨年、全国酪農青年女性発表大会は五十回を一つの区切りとし、今年は『酪友フォーラム』として、過去に経営発表を行った当時と現在について発表する「過去の発表者による現況報告」と、新型コロナウイルスにより各地域での活動が制限されていたため、再び活気あるものにするための地域の事例を知り、意見交換をすることで今後の活動の糧とするための「各地域酪農青年女性会議の酪青女活動報告」を行いました。

初めに、「過去の発表者による現況報告」として、山形県酪農青年女性会議 今 周作さんが、

「一九八〇・一九九五・二〇二三」と題し、平成二十九年に省力化機器の導入し、搾乳時間の短縮給餌作業の時間・労力とも大幅に軽減され、平成三十一年一月には、東北三番目の「農場HACCP認証」を取得しました。経営規模は過去の発表からは、変わっていないものの発表した当時から比べると、飼養管理技術の向上や牛群改良、先進的な機械の導入により省力化を図り生産乳量を伸ばすことができたことと発表し過去と比較することと酪農スタイルが明確になり、今後持続可能な酪農経営を目指していきたいと発表しました。

次に、福島県酪農青年研究連盟 柚原 友加津さんが、「六次化で地域の架け橋に」と題し、震災・原発事故から十二年

が立ち、避難指示が解除された地域には住民帰還が徐々に進み、交流拠点が生み出されており、さらに浪江町においては復興牧場が誕生する計画や避難を余儀なくされた酪農仲間がふるさとに戻り新牛舎を建設し今年十一月に酪農再開、飼料作物を供給する体制を作るなど、改めて、浜通りに地域農業の復活の兆しが見えるようになりました。

さらに、以前の夢であった六次産業化のチャレンジに向けて、昨年、国産乳製品等競争力強化対策事業にて、チーズ製造に関わる施設・機械等を整備し、現在はチーズ作りと販路拡大に向けて奮闘していると発表しました。

最後に、宮酪青年婦人連絡協議会 猪股 聡士さんが、「持続可能な経

浪江町畜産施設敷地造成工事 安全祈願祭(復興牧場起工式)



工事の安全を願い、浪江町吉田栄光町長がくわ入れ

四月十二日(水)午前十時より浪江町復興牧場(シャインコースト)の敷地造成工事安全祈願祭が執り行われました。当日は事業主体である浪江町の吉田町長はじめ、平本議長、復興庁福島復興局加藤次長が参列した他、本組合からは紺野組合長、全酪連からは隈部会長が運営予定者として参列致しま

した。造成工事については地元横山建設が請け負い、予定では令和六年度中に完了する見込みとなっております。広大な森であった約二十五haの土地が伐採によって露になっており、いよいよ事業が始まる様相を呈しております。吉田町長からは「除染によって地力が低下した農地を再生する

営を目指して」と題し、二〇一四年に家族経営で発表し、その後、労働力の確保、家族の健康やプライベートの充実など経済的にゆとりある生活や二〇年後の安定した経営を思い描いて、二〇一七年に法人設立をし、廃業した近隣の牧場等を購入し規模拡大しています。さらには「ICT機器等の導入により、毎日取得される多数のデータを解析や管理することで多頭数の個体管理の労力が省力化されており将来のビジョンとして、さらなる規模拡大・作業効率のよい飼養環境、福利厚生強化など、人と牛が健やかに経済活動を行えるような会社へ成長したいと発表しました。

次に、「各地域酪農青年女性会議の酪青女活動報告」として、各地域の発表を行いました。福島県酪農青年研究連盟では、木目澤 初実さんが福島県の代表として発表しました。各地域の酪青女活動において、レクリエーションの開催（リフレッシュやストレス解消など）、研修会や勉強会等も実施しながら、会員同士の交流や情報交換の場となっています。しかし、コロナ禍となったここ数年は、大人数で集まる活動の自粛がされるなど、活動の中止を余儀なくされている状況となっていますが、その中でも、Zoomを利用し、オンラインでの研修会等も開催されるなど、地域活動を継続しています。さらに、牛乳・乳製品の消費拡大を図るために理解醸成活動を行い、法被や着ぐるみをオリジナルで作る会議もありました。各地域での活動内容等、参考にしながら、今後の酪青女活動を行っていききたいと思えます。

さらに、七月に開催されます全国酪農青年女性会議主催「酪友フォーラム2023 Challenge to The Next Stage」酪友とともに五十年 次の時代へ」の「過去の発表者による現況報告」の東北代表として、柚原 友加津さんが発表することとなりましたので、ぜひ、応援をお願いします。参加募集等については、追って詳細を通知いたします。



には畜産を再興し、耕畜連携を推進していく必要がある。その取り組みを進める為の第一歩が本日より。引き続き復興牧場事業については、本紙にて事業の進捗を逐次ご報告させていただきます。



吉田栄光町長より挨拶



福島県酪農協同組合 紺野宏代表理事組合長



25haの広大な森が伐採され、これから造成工事が始まります

購買畜産課

令和5年4～6月の牛用飼料価格について

令和5年度第1四半期（令和5年4月～6月）の牛用飼料（配合・哺育）につきまして、下記のとおり価格改定を致しますのでご案内申し上げます。

記

改定額(令和5年1～3月期対比)

(1) 牛用配合飼料 トン当たり	<u>1,400円値下げ</u>
(2) 牛用哺育飼料 トン当たり	<u>60,000円値下げ</u>

原料情勢等につきましては、以下のとおりです。

主原料である米国産とうもろこしについては、3月8日米国農務省の需給予想において2022年産の生産量は137億3,000万ブッシェル（3億4,876万トン・前年比91.1%）、単収は173.3ブッシェル/エーカー、総需要量138億1,500万ブッシェル（3億5,092万トン）、期末在庫13億4,200万ブッシェル（3,409万トン）、在庫率9.71%と発表されました。

中国向け引合いが低調な一方で、アルゼンチン産の高温乾燥に伴う減産懸念や、先行き不透明なウクライナ情勢、米国産の低調な在庫率を背景に相場は高止まりしています。

大豆粕については、食用油の消費落ち込みに伴う搾油量の低迷や、アルゼンチン産大豆の減産懸念に伴うシカゴ定期の高騰により、相場は底堅く推移しています。

糟糠類については、グルテンフィードは、夏季に向け主製品の発生時期となるため、相場は弱含みで推移しています。ふすまについ

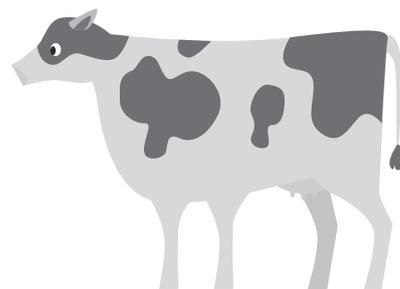
ては、小麦粉製品の販売は引続き低調で、在庫逼迫懸念が継続しているため、相場は底堅く推移しています。

脱脂粉乳については、米国や欧州の生乳生産が順調な一方で、中国の需要が低調なため、相場は軟調に推移しています。

海上運賃は、コロナ規制緩和後の中国经济回復が期待に反し低調で、貨物の荷動きが鈍化しているため、軟調に推移しています。

為替相場は、米国の利上げ長期化観測から日米金利差拡大が意識され、現在は円安ドル高基調にあり、引続き不透明な状況が継続するものと思われます。

以上



全酪連配合利用に対する 特別対策の実施について

酪農経営は新型コロナウイルスの感染拡大による牛乳・乳製品需要の低迷と、世界情勢や円安の影響による生産資材高騰により、非常に厳しい状況となっております。4月からの乳価値上げが決まっておりますが、厳しい状況での一助になればとの思いで全酪連支援のもと、下記の特別対策を実施することにいたしました。

引き続きのご利用よろしく申し上げます！

■特別対策内容

全酪連配合飼料に対しトン当たり1,100円（税込）の支援

* 配合飼料は乳配の他、育成飼料・肥育飼料・TMR製品を含む。

■対象期間

令和5年1月1日から令和5年3月31日までの供給分

■支払時期

令和5年5月支払い乳代

■支払方法

乳代金にて加算支払い

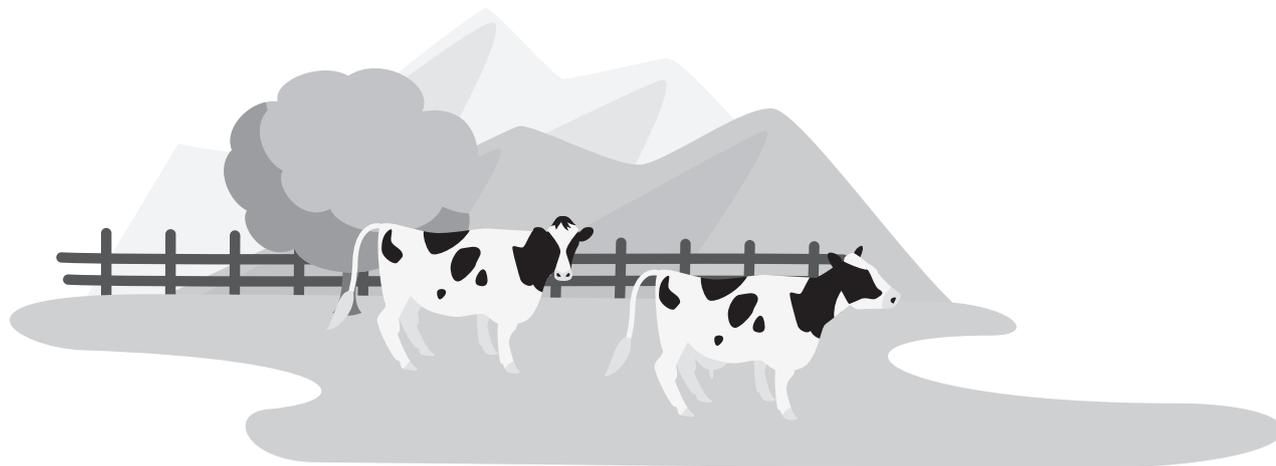


お問合せ・ご用命は…

福島県酪農業協同組合、または全酪連スタッフまで！

令和5年度 福島県酪農協 乳牛市場 開催日程

開催日		出場予定頭数
令和5年	4月13日(木)	初生牛 250頭
	5月12日(金)	初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭
	6月14日(水)	初生牛 250頭
	7月12日(水)	初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭
	8月7日(月)	初生牛 250頭
	9月13日(水)	初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭
	10月11日(水)	初生牛 250頭
	11月14日(火)	初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭
	12月13日(水)	初生牛 250頭
令和6年	1月12日(金)	初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭
	2月14日(水)	初生牛 250頭
	3月14日(木)	初生牛 250頭・妊娠牛 15頭・雌子牛 10頭



組合員の皆様へ

令和5年4月

栄養剤・殺虫剤特別推進 のお知らせ

日頃より当組合購買事業にご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、桜の季節を迎え、これから気温が徐々に上昇してくると、乳牛への影響も心配される時期となりました。

組合では、適期に合わせて栄養剤・殺虫剤の特別推進を実施しております。すでにご案内が届いている事としますので、この機会にぜひご利用下さい。なお、商品のラインナップ等につきましてはお手元の案内をご覧ください。皆様からのご注文お待ちしております。

<お問い合わせは>

購買畜産課・各事務所または地区担当/指導員まで

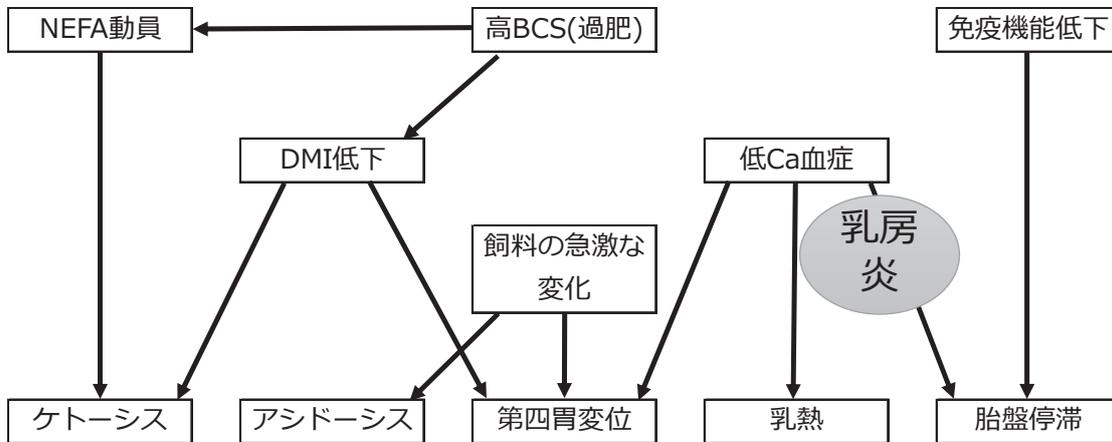
全酪連の小窓 4月号 ~乾乳管理~

春本番!! ようやく暖くなり外での作業が本格化してきました。これからは一段と忙しくなり、牛を観る時間が減ってきてしまうかと思えます。分娩が多くなる時期でもありますので、分娩後スムーズに生乳生産できるように今回紹介するポイントだけでも押さえていただければと思います。

乾乳管理のポイント

- 妊娠期間に急激に成長する胎児に必要な栄養を供給し、胎児の成長と生乳生産の準備をするために、牛の栄養要求量は高まる。
- 分娩後の乾物摂取量とピーク乳量を最大にするため、健康状態も優れ（代謝病を最小限に）繁殖も順調にいくような栄養的基礎を整える。
- 乳房炎の治療とコントロール。

分娩前後の代謝障害



注意ポイント
ビタミン・微量ミネラル・
抗酸化物質の不足

注意ポイント
飼料中の有効繊維の不足

栄養が足りないと様々な周産期病のトラブルの原因となります。さらには盗食や高カリウム飼料給与によるカルシウム代謝低下にも繋がります。乾乳の管理を見直すことは移行期の改善・元気な子牛・生乳生産にも繋がっていきます。一度乾乳管理を見直しませんか？

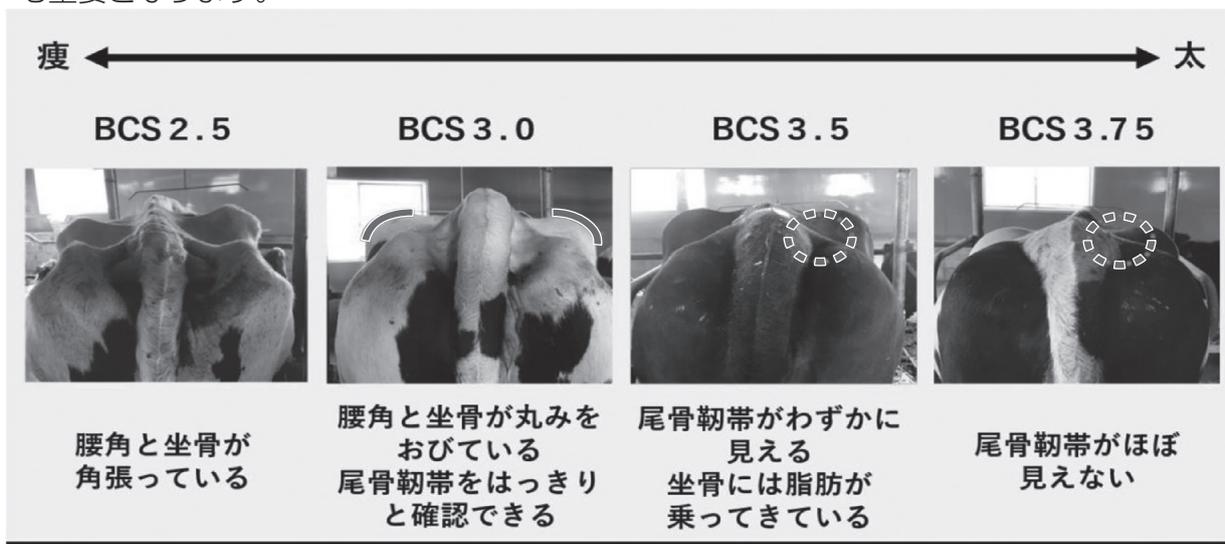
注意ポイント
牛検結果から、分娩後の乳脂肪が5.0以上は要注意!!
→ケトーシス、脂肪肝の疑い

BCS管理

分娩移行期の管理がうまくいっているかどうかは、分娩後の乳量だけではなく、ボディコンディションスコア (BCS) にも現れます。

左の図はフレッシュ期にBCSが増加するにつれて受胎率が向上するという結果が報告されており、分娩移行期をうまく乗り越えるとその後の繁殖成績にも良い影響が期待できます。

フレッシュ牛は生理的に乾物摂取量が落ち込みやすいため、体脂肪だけでなく体タンパクも動員して乳生産を維持しようとしています。BCS維持のために「食べ続けさせること」が最も重要となります。



図のように、BCSが増加するにつれて骨の形が見えにくくなり、牛のお尻に脂肪が乗っていくのがわかります。最近ではBCSの変化をより最小限にする飼養管理が推奨されており、泌乳期から乾乳期までを通して2.75~3.25の間で推移する事が望ましいとされています。

BCSを適切にコントロールするためには、牛群のBCSモニタリングを行い状況に応じて飼料給与内容を調整しましょう。(調整する時期は泌乳中です!)

繁殖成績の悪化や分娩後のトラブルを防止して牛の健康状態を良好に保つために、日頃から牛群のBCSを意識し観察する事が大切です。

全酪連の移行期配合飼料ラインナップ

DRY & FRESH SE

ドライ&フレッシュSE

OPEN

画期的なバイパスアミノ酸サプリメント乳牛用配合飼料

全酪連

ア

ミ

ノ

サ

ブ

リ

P

アミノ酸

全国酪農業協同組合連合会 正味 20kg

給与方法や給餌メニューでご不明点ありましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください!

ZENRAKUREN



ZENOAQ コーナー Vol.220



酸化ストレスは動物 に影響がある。

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

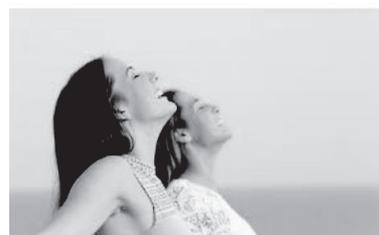
日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

今回は、酸素から起こり得る酸化ストレスについての話題を提供します。ほとんどの生物は呼吸をしています。なぜ呼吸するのでしょうか？それは空気中に含まれる酸素を取り込むためです。そして、この酸素は細胞がエネルギーを作るために必須です。では一体、その必須物質である酸素がストレスになるとはどういうことでしょうか？

酸素はいいことばかりなのではないでしょうか？

上述の通り、生物は生きる上で酸素を利用しエネルギーを作っています。例えば、酸素カプセルをテレビなどでご覧になった方もいるかもしれません。実際に高濃度の酸素を取り込むことで疲労回復（エネルギー生産）に期待があるようです。スポーツ選手などが利用しているのはその為です。



しかし、取り込まれた酸素の数パーセントは**活性酸素種 (ROS)**となり、一部は利用されるのですが、度が過ぎると体内に悪影響を及ぼすことが分かっています。

生物はうまくできており、**抗酸化物質 (AOX)**と呼ばれるものを利用して、体内で発生した過剰な活性酸素を打ち消して、うまくバランスを取っています。通常はROSとAOXは、やじろうべいのようにバランスがとられています。このことを酸化還元バランスと言います。抗酸化物質については後述します。

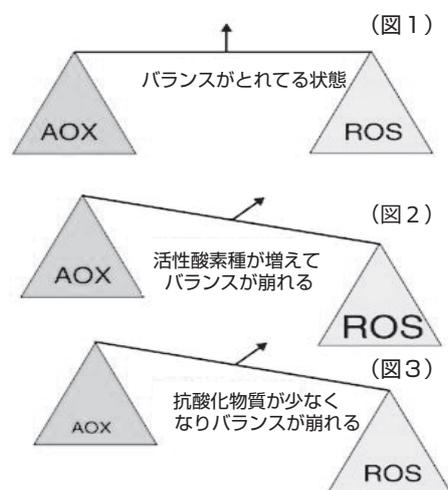
バランスが崩れると、どうなるのか？

分かり易く模式図を使って説明すると、健康な状態では図1のようにROSとAOXのバランスがとられています。

過度なストレスの状況下（暑熱、乳生産、分娩、病気）では活性酸素種 (ROS)が増加し、このバランスが崩れます。（図2）

また、体内の抗酸化物質 (AOX) が少なくなると、バランスが崩れます。（図3）

このようなバランスが崩れた状態では、細胞や生理機能は正常に働くなるために、元に戻す必要があります。でなければ、生産能力の低下や疾病を招く原因となりますのです。



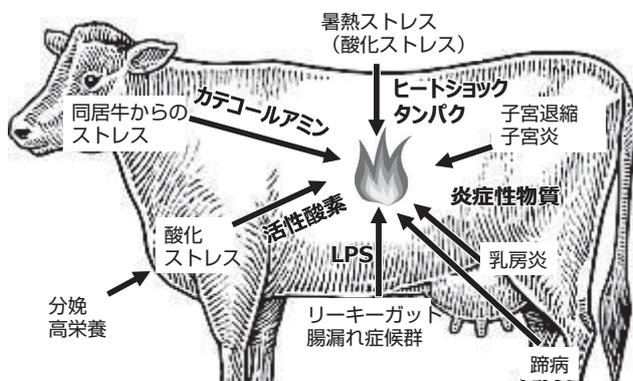
酸化還元バランスの模式図

乳牛はどれほど酸素を消費しているか？ 活性酸素は？

では、体重650kgの乳牛が30kgのミルクを生産するときに必要なエネルギー量はどのくらいでしょうか？我々人間が必要とする熱量は、体重60kgくらいで100ワットの電球1個を点灯させるエネルギー（熱）が必要です。体重650kgの乳牛だと電球8個分となります。それに毎日の搾乳に必要なエネルギーは電球にして6個くらいなので、合計で電球14個分のエネルギーが必要です。ドライヤーを強風ですっと電源を入れている感じだとイメージしやすいでしょう。冬でも牛舎暖かい理由ですね。逆に夏では牛はすごく暑いんです。

それでは、乳牛がエネルギーを作る時にどれくらい酸素を消費しているのか？また、どれくらいの活性酸素種が発生するのでしょうか。上記のような生産を行っている乳牛では、酸素を約230mol(モル) 5,100ℓの量を消費し、その内の100ℓが活性酸素種となるのです。

現代の牛は活性酸素がいっぱい



体内で発生する活性酸素種は、エネルギー生産時だけではありません。暑熱ストレス、同居牛からのストレス、様々な疾病によるストレスなどにより、多くの活性酸素種が発生します。そのためにも前述の酸化還元バランスを考慮する必要があります。

牛が活性酸素種と戦う方法

この活性酸素種と戦うための抗酸化物質ですが、大きく分けると二つあります。一つは体内で自身で生産するもの、もう一つは餌より摂取するものです。ここでは餌から摂取される代表的なものを記載します。

①抗酸化ビタミン類（ビタミンE、ビタミンC、ベータカロテン）

ビタミンは全部で13種類存在しますが、その中でも牛において抗酸化作用を有する代表格は**ビタミンE**、**ビタミンC**、そしてビタミンAの前駆物質である**ベータカロテン**です。これらは牛での体内での利用が明確となっており、暑熱、種付け、疾病時、分娩時に増量することが望ましいです。

②ミネラル類（セレン、亜鉛、マグネシウム、銅など）

抗酸化ビタミン類だけでは十分ではありません。ミネラル類は抗酸化物質の機能をサポートします。特にセレンは非常に重要で、これは体内で作られるグルタチオンペルオキシダーゼと呼ばれる強力な抗酸化物質を作るのに必須なのです。また、セレンはビタミンEを助ける作用があるので、**セレン**が含有されている固型塩は非常に有効です。必ず抗酸化ビタミンと併用することをお勧めします。

詳しいお話しはゼノアックの担当営業にご相談ください。 O

参考資料：養牛におけるビタミン類（DMS 中辻氏作成スライド資料より）

令和5年度2月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年より8円64銭6厘上回る単価となりました。生乳取引価格については、令和4年11月1日から飲用向け及び発酵乳向け10円/kg（税抜）の値上げが、令和5年4月1日から学乳向け及び乳製品向け10円/kg（税抜）の値上げが決定されております。

- 東北全体プール乳代金 4,105,765千円 単価117.690円
- 内 福島県分プール乳代金① 447,324千円 単価117.690円
- プール対象外乳代金② 90,502千円
- （学乳向け・買取向け乳代金）
- 合計乳代金①+② 537,827千円 単価121.389円

項目	令和5年2月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	117円777	108円850	8円927	111円032
補給金単価	1円045	1円259	-0円214	0円887
集送乳調整金単価	0円327	0円394	-0円067	0円271
合計	119円149	110円503	8円646	112円190

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体2月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	24,485	874.0	98.4	65.4	63.9
加工向け	4,162	149.0	76.3	11.1	14.0
学校給食向け	2,531	90.0	107.9	6.8	6.0
発酵乳向け	5,652	202.0	98.3	15.1	14.8
生クリーム向け	446	16.0	109.4	1.2	1.0
チーズ向け	141	5.0	127.2	0.4	0.3
合計	37,417	1,336.0	96.0	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

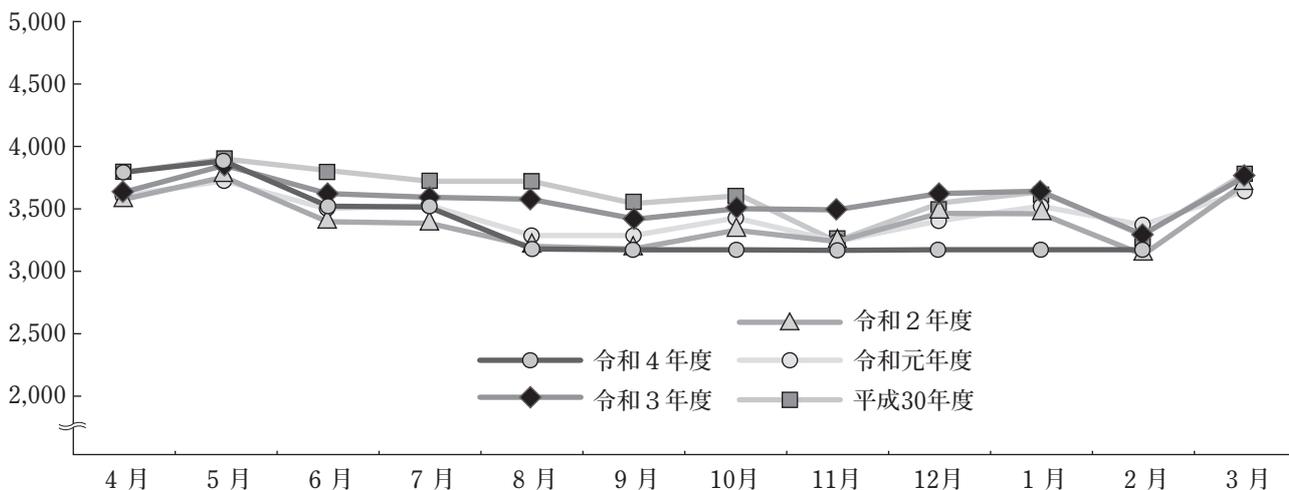
北海道：93.7%、都府県：96.5%

団体名	2月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	3,088	110.3	92.1
全農福島県本部	1,343	48.0	89.0
合計	4,431	158.3	91.1
東北生乳販連	37,417	1,336.3	96.0
全国	534,969	19,106.0	94.9

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088		
前年比%	99.9	96.7	96.3	95.4	92.7	93.4	93.7	91.3	91.9	91.8	92.1		

単位・トン



令和5年度受託乳量の状況

令和5年2月の受託乳量は、県全体で前年比91.1%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,088トン、前年比92.1%（対前年同266トン減）、全農県本部は1,343トンの対前年比

89.0%（対前年同月166トン減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比96.0%となりました。

なお、全国の実績は対前年比94.9%となりました。

令和5年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で学校給食向けが107.9%、生クリーム向けが109.4%、チーズ向けが127.2%と上回り、飲用向けが98.4%、加工向けが76.3%、醗酵乳向けが98.3%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

令和5年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比43銭引き上げの「8円69銭」、集送乳調整金を同6銭引き上げの「2円65銭」、総交付対象数量については、前年度比15万トン減の「330万トン」で決定しました。補給

金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比49銭上げの「11円34銭」となります。補給金単価の上げ要素としては、配合飼料価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費と単独集送乳経費の増加、下げ要素としては加工原料乳の集乳乳量の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149		
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523
平成30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545	106.664	104.358	106.242

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和5年2月28日現在

地区	酪農家戸数			乳牛頭数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当たり頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北	29	33	87.9	375	217	125	391	787	1,303	1,895	2,108	89.9	65.3
県中	54	61	88.5	294	113	144	381	759	1,284	1,691	1,814	93.2	31.3
浜	7	7	100.0	94	39	16	76	100	192	325	335	97.0	46.4
県南	35	40	87.5	591	242	207	591	1,009	1,807	2,640	2,895	91.2	75.4
合計	125	141	88.7	1,354	611	492	1,439	2,655	4,586	6,551	7,152	91.6	52.4

地区	月別分娩予定頭数							販売乳量					
	令和5年3月	令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	生乳出荷戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量		
									1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛	
県北	97	95	73	81	134	131	122	25	33,129	1,325	28.1	25.4	
県中	101	73	71	61	86	95	151	54	27,807	515	24.4	21.7	
浜	10	9	19	17	25	24	27	7	5,010	716	28.5	26.1	
県南	131	128	122	115	151	165	228	33	44,349	1,344	27.7	24.5	
合計	339	305	285	274	396	415	528	119	110,295	927	26.9	24.1	

組 合 の 動 き 3 月

3月1日	酪青連酪農フォーラム ・第4回酪農後継者支援研修会	3月14日	全酪連ブロック別会長・組合長会議
3月1日	日本酪農政治連盟東北ブロック 協議会監査・総会	3月16日	臨床研究会
3月2日	酪王協同乳業(株)取締役会	3月16日	東北酪青女酪友フォーラム
3月2日	獣医師連盟役員会	3月22日	東北生乳販連臨時総会・理事会
3月2日	獣医師会理事会	3月24日	FD24会会員研修会
3月3日	第11回経営検討会	3月24日	復興牧場設立準備委員会
3月3日	東北生乳販連理事会	3月27日	福島県乳牛改良推進協議会 第3回理事会
3月7日	酪青連酪農フォーラム ・第5回酪農後継者支援研修会 (オンライン)	3月28日	やまびこ会決算役員会
3月8日	日本酪農政治連盟中央委員会 ・通常総会	3月29日	酪青連決算役員会
3月14日	乳牛せり市場	3月30日	第11回理事会
		3月30日	辞令交付式
		3月30日	職員全体会議
		3月31日	第12回経営検討会

理 事 会

第11回 令和5年3月30日

議 案

- 議案第1号 令和5年度事業方針並びに計画立案骨子について
- 議案第2号 令和5年度酪農経営緊急対策(案)について
- 議案第3号 役員定数の変更と定款の一部変更について
- 議案第4号 シャインコースト株式会社の設立に伴う発起人並びに出資について
- 議案第5号 令和5年度高能力乳用雌牛整備事業の実施について
- 議案第6号 令和5年度余裕金預入先金融機関並びに運用について
- 議案第7号 令和5年度一組合員に対する貸付金並びに貸付金利率最高限度について

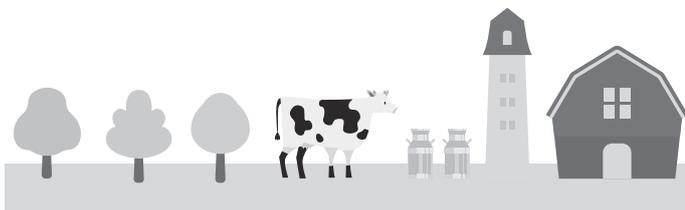
- 議案第8号 特別積立金の取り崩しについて
- 議案第9号 酪農ヘルパー事業規程の一部変更について
- 議案第10号 時間外及び休日勤務手当支給細則の一部変更について
- 議案第11号 令和5年度事業資金の借入並びに最高限度決定について

報 告 事 項

- (1) 令和5年度職員定期異動等について
- (2) 令和4年度下期定期監査の日程について
- (3) 今後の日程について
- (4) 総会までの日程について

らっくーと、一緒に！！

子牛さんに会いに行ってきたよ



令和5年度定期異動・昇進・昇格・昇級・退職者

◆退職者（令和5年3月31日付）

氏名	事由	所属
根本 則子	依願退職	県中事務所
根津 光夫	契約満了	東北生乳販連出向
雪野 由美	定年退職	会津事務所

◆異動（昇進・昇格他含む）（令和5年4月1日付）

職位	氏名	新任	旧任
考査役	柳 沼 鉄 治	復興牧場設立準備室室長	生産部部长
副調査役	小泉 ヤス子	県中事務所	生産部購買畜産課地区担当
副調査役	津守 君枝	生産部購買畜産課地区担当	県北事務所
副調査役	甲 斐 響	生産部指導推進課	生産部購買畜産課地区担当
一般職位	渡邊 真樹	県北事務所	生産部購買畜産課地区担当

◆昇進（昇格他含む）

職位	氏名	新任	旧任
審査役	野口 泰幸	生産部部长	生産部次長兼指導診療課課長（副審査役）
副審査役	松岡 陽慈	復興牧場設立準備室 復興牧場設立専任部長	復興牧場設立準備室次長

◆昇格・昇級

職位	氏名	新任	旧任
考査役	大沼 徹	生産部購買畜産課 哺育センター長 （考査役1等級）	生産部購買畜産課 哺育センター長 （副考査役2等級）
調査役	鈴木 守一	県南事務所	県南事務所（副調査役）
調査役	熊田 勝浩	組織振興室酪農ヘルパー	組織振興室酪農ヘルパー （嘱託職員）
一般職位	喜古 林尚	組織振興室酪農ヘルパー	組織振興室酪農ヘルパー （嘱託職員）
一般職位	後藤 和弥	組織振興室酪農ヘルパー	組織振興室酪農ヘルパー （嘱託職員）

◆昇格わり

職位	氏名	新任	旧任
	佐藤 隆	わり昇格2等級	

◆兼務

職位	氏名	新任	旧任
副審査役	古姓 保	生産部指導診療課課長兼務	生産部指導診療所所長
調査役	小島 宏文	生産部指導診療課係長兼務	生産部指導診療所係長
一般職位	高橋 輝	経営管理部監査室監査課兼務	経営管理部経営管理課

◆新採用

職位	氏名	新任
一般職位	橋本 夏来	生産部購買畜産課地区担当
一般職位	遠藤 琢郎	組織振興室酪農ヘルパー
一般職位	大槻 咲弥	生産部購買畜産課地区担当
一般職位	根本 美和子	生産部指導推進課兼購買畜産課
嘱託職員	高木 淑雄	復興牧場設立準備室
嘱託職員	西 康一	復興牧場設立準備室

◆再雇用

職位	氏名	新任
嘱託職員	雪野 由美	会津事務所

新入職員のご紹介

組織振興室（酪農ヘルパー）



●遠藤 琢郎

令和5年度より組織振興室に配属となりました遠藤 琢郎と申します。

酪農ヘルパーとして少しでも早く、組合員の皆様のお力になれるよう努力して参ります。

どうぞよろしくお願いいたします。



生産部 購買畜産課（地区担当）



●橋本 夏来（左）

4月から購買畜産課地区担当に配属となりました橋本夏来と申します。日々、新しい知識を取り入れ、成長して参りますので、ご迷惑をおかけするとは思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

●大槻 咲弥（右）

4月から購買畜産課（地区担当）所属の大槻と申します。酪農の知識が無いところからのスタートですが、皆様のお力をお借りしながら日々吸収していこうと思います。何卒よろしくお願いいたします。

生産部 指導推進兼購買畜産課



●根本 美和子

令和5年度より生産部指導推進課及び購買畜産課兼務となりました根本と申します。

昨年度は派遣社員として勤めておりましたが、本年度より正職員として従事いたします。

まだまだ知識不足ですが、誠心誠意努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

復興牧場設立準備室



●西 康一（左）

復興牧場設立準備室に配属になりました西康一と申します。

牧場の立ち上げに貢献できるよう、努力して参ります。

※浜地区組合員西貞治郎さんのご子息です。

●高木 淑雄（右）

自動車業界からの転職で酪農業界はど素人ですが、業務に必要な各資格を早急を取得し、一日でも早く戦力となるよう日々精進したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

主催 全国酪農青年女性会議 / 全国酪農業協同組合連合会

酪友フォーラム2023

in 札幌

Challenge to the Next Stage ~酪友とともに50年 次の時代へ~

2023年 **7月13日** (木)

13:00~18:00
※終了後18:30より懇親会

例年7月に開催している全国酪農青年女性酪農発表大会は、昨年の大会で節目の50回を迎えました。今年は50年を振り返るとともに、近年のコロナ禍での各地域の様々な酪青女活動の事例を知り、それを糧として再び皆様の活気を取り戻すきっかけになればと『酪友フォーラム2023』を開催することとしました。
初夏の北海道で元気を分かち合いませんか?!



主な内容

- **過去の発表者による現況報告**
過去の酪農発表大会において優れた発表を行った方による現況報告
- **酪農青年女性会議の活動報告**
各地域の酪青女による様々な活動事例の紹介

- **パネルディスカッション**
酪農生産者、酪農団体関係者、有識者によるパネルディスカッション
コーディネーター
石川 實 氏 (ラジオパーソナリティー)
パネラー
酪農生産者、酪農団体関係者、有識者 (予定)



石川 實 氏
ラジオパーソナリティー

日本大学芸術学部演劇科卒。テレビドラマ・映画・舞台などに多数出演。1997年ラジオDJに転身しレギュラー番組を持つ。近年は番組を通じ、様々な社会貢献活動を行い、各方面から高い評価を得ている。
※「石川實DAIRY LIFE」(TBSラジオ) 2015年10月~O.A中

大会参加費

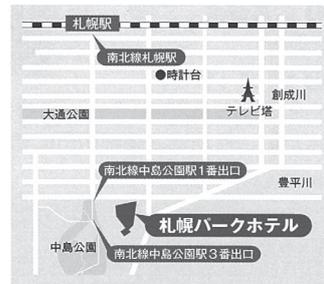
1名 **3,000円** (フォーラムのみ) 1名 **13,000円** (大会・懇親会まで) ※宿泊につきましては、各地域会議事務局にお問い合わせください。

大会会場・アクセス

- **会場**
「札幌パークホテル」
〒064-8589
札幌市中央区
南10条西3丁目1-1
TEL. 011-511-3131



- **アクセス**
- **電車の場合**
新千歳空港駅よりJR千歳線 快速エアポート約40分、札幌駅乗り換え。地下鉄(さっぽろ駅・南北線)で5分、中島公園駅下車3番出入口より徒歩すぐ。
- **車の場合**
JR札幌駅から車で10分。
新千歳空港からは車で約50分、または札幌丘珠空港からは車で約30分。



大会事務局

全国酪農青年女性会議

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館
全酪連 総務部 組織対策課 内 / TEL. 03-5931-8003

作品募集のお知らせ

第49回

らくのうこどもギャラリー

① 募集規定

- (1)酪農を中心とした題材の図画（大きさ、技法は自由）
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、題名・住所・氏名・振り仮名・年齢・学校名・学年・保護者名を必ず記載してください。また、酪農家の子弟については保護者の所属組合名を記載してください。
- (4)作品返却を希望される方は応募時に返却希望の旨を申し出てください。

② 応募資格

4歳から中学生までの酪農家の子弟、および酪農に関心のある一般のお子さん。

③ 締切日

令和5年5月26日（金）（必着）
または、各地域会議締切日に準ずる。

④ 提出先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。

⑤ 審査結果の発表

「全酪連会報7月号」に審査結果を掲載いたします。

⑥ 褒賞

- ・特選 1点
- ・入選 4点
- ・秀作 若干
- ・ファミリー賞 若干
（牛とのふれあいなど、ほのぼのとした雰囲気を持つ作品に贈られます）
- ・あすなる賞 若干
（小学校入学以前の方の優秀作品に贈られます）

◎入賞者には記念品を贈呈いたします。

◎図画の優秀作品は、作者の顔写真・審査講評と共に「全酪連会報」の最終ページに掲載します。



第48回 特選
「正面からみた牛」
喜多 小雪さん

第13回

酪農いきいきフォトコンテスト

全国酪農青年女性会議では、酪農家の生活や牛乳の生産現場をより鮮明に消費者に伝えていくことを目的に、「酪農いきいきフォトコンテスト」を実施します。

つきましては、下記のとおり作品を募集しますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

① テーマ

- (1)「乳牛のいる風景」
- (2)「酪農作業風景」

※いずれも、酪農家がいきいきと牛乳生産に励む様子や、安心安全な牛乳生産のため懸命に仕事に取り組む姿勢が感じられるようなもの。

② 募集規定

- (1)写真は可能な限りデータで提出してください。
- (2)自作で未発表のものに限ります。
- (3)作品には、題名・氏名・振り仮名・住所・所属組合名を必ず記載してください。



第12回 特選
「お引越し」
佐久間 幸枝さん

③ 応募資格

酪農家

④ 締切日

令和5年5月26日（金）（必着）
または、各地域会議締切日に準ずる。

⑤ 提出先

下記「提出先一覧」中の最寄りの酪農青年女性会議事務局宛に提出してください。

⑥ 審査方法

応募作品を「酪友フォーラム2023」の会場内に掲載し、フォーラム参加者の投票による審査を行います。
※応募多数の場合は事務局による予備審査を行います。

⑦ 審査結果の発表

- (1)「全酪連会報」にて発表します。
- (2)「全酪連会報」の表紙に使用します。（号数未定）

⑧ 褒賞

- ・特選 1点
 - ・入選 若干
- ◎入賞者には賞品を贈呈いたします。
◎提出していただいた作品の返却はいたしません。
◎応募していただいた作品は、全酪連会報およびカレンダーへの掲載を含め、今後各地での牛乳消費拡大活動（「父の日に牛乳を贈ろう！」キャンペーン含む）等で使用することがありますのでご了承ください。

● 福島県酪農青年研究連盟

事務局 福島県酪農業協同組合 組織振興室

〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103

酪王
カフェオレの

おいしいニュース!!

酪王カフェオレシリーズのコラボ商品でお馴染みの(株)長登屋より、「酪王カフェオレポップコーン」が発売されました。

酪王カフェオレ入りのカラメルソースをたっぷりとポップコーンに絡めたカリカリとした食感がやみつきになる美味しさです。

常温で賞味期限も長いため、贈り物やお土産にも最適です!



発 売 日…3月20日(月)

販 売 先…福島県内の観光施設
高速 SA、道の駅など

価 格…537円(税別)
580円(税込)

賞味期限…125日

使 用 量…酪王カフェオレを全重
量の4.6%使用してい
ます

『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思えます。
ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^))する話題がいいですね) 2. 受付 (常時受け付けしています)
- ◎文章だけでも結構です。 メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
◎写真があると最高です。 E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>